

『平家物語』 絵本・絵巻（林原本・明暦版本・真田本・明星本・根津本）の場面对照表

内容末尾の洋数字は一段中にある異時同図の場面数 \*は片頁のみ ○囲いの数字は錯簡の本来の章の林原本での段数

巻一 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本（巻一）	根津美術館蔵 扇面（上）
祇園精舎					
殿上閣討	節会に参内した忠盛と庭の家貞 4	節会に参内した忠盛と庭の家貞	節会に参内した忠盛と庭の家貞	節会に参内した忠盛と庭の家貞	
	鳥羽上皇に釈明する忠盛 2		鳥羽上皇に釈明する忠盛*	鳥羽上皇に釈明する忠盛	鳥羽上皇に釈明する忠盛
鱈	仙洞御所で歌を詠む忠盛				
	扇を見つけられて歌を詠む女房				扇を見つけられて歌を詠む女房
	熊野詣の船で鱈の吉兆を得る清盛	熊野詣の船で鱈の吉兆を得る	熊野詣の船で鱈の吉兆を得る	熊野詣の船で鱈の吉兆を得る清盛	熊野詣の船で鱈の吉兆を得る清盛
禿童	出家する清盛				
			清盛の前の禿童たち*		
	市中を見回る六波羅の禿童				
我身栄華	清盛邸のにぎわい(長大画面)	清盛邸のにぎわい	清盛邸のにぎわい	清盛邸のにぎわい	清盛邸のにぎわい
妓王	妓王邸で銭を受け取る刀自				
	仏御前を追い返す清盛 2				
	清盛に懇願する妓王 2				清盛邸を出る妓王(歌を残す)
	仏御前の舞を見る清盛と妓王 2		仏御前の舞を見る清盛と妓王	仏御前の舞を見る清盛と妓王	
	妓王に閑を出す清盛 2				
	清盛邸を出る妓王 2				
	悲嘆に沈む妓王一家		悲嘆に沈む妓王一家*		
	人々から文を受ける妓王 2				
	清盛から呼出を受ける妓王 3				
	仏御前の前で舞う妓王 2	仏御前の前で舞う妓王	仏御前の前で舞う妓王*		
	泣き沈む妓王一家				
	嵯峨の庵の尼姿の妓王一家				
	妓王の庵を訪れる尼姿の仏御前		妓王の庵を訪れる尼姿の仏御前*	妓王の庵を訪れる尼姿の仏御前	
	ともに念仏する妓王一家と仏御前	若者一行と牛車(殿下乗合②か)			
二代后	二条天皇の艶書を受取る大宮				
	入内の宣旨を下す二条天皇 2				
	大宮を説得する父の右大臣 2				
	泣く泣く車に乗る大宮	泣く泣く車に乗る大宮		大宮を説得する右大臣と迎えの牛車	
	麗景殿の二条天皇と大宮		二条天皇に入内した大宮*		麗景殿の二条天皇と大宮(畚事)
額打論	二条天皇の発病と崩御の宮中 2	三人の尼と一人の尼(妓王①か)			
	廟所で延暦寺の額を壊す興福寺僧	廟所で延暦寺の額を壊す興福寺僧	廟所で延暦寺の額を壊す興福寺僧	廟所で延暦寺の額を壊す興福寺僧	廟所で延暦寺の額を壊す興福寺僧
清水炎上	比叡山を駆け下る延暦寺の僧兵達				
	噂を聞いて内裏に集まる平家勢				
	清盛邸へ避難する後白河法皇 3				
	延暦寺僧に焼討ちされる清水寺 2	延暦寺僧に焼討ちされる清水寺	延暦寺僧に焼討ちされる清水寺*	延暦寺僧に焼討ちされる清水寺	
	後白河上皇の還御 2				
	上皇に本音を漏らす西光				

			高倉天皇の即位式		
殿下乗合	新帝高倉天皇の御所				
	鷹狩に興じる資盛				
	資盛主従を懲らしめる基房の下部		資盛主従を懲らしめる基房の下部	資盛主従を懲らしめる基房の下部	資盛主従を懲らしめる基房の下部
	資盛の訴えに怒る清盛 2				
	基房一行を辱める資盛の下部たち		基房一行を辱める資盛の下部たち		
鹿谷	屈辱を嘆く基房				
	資盛を叱責する重盛				
	高倉天皇の朝観行幸 2				
	山鳩の変事を報告する桜枝 3				
	成親が上賀茂社の夢告を受ける 2		成親が上賀茂社の夢告を受ける *		
鶴川合戦	上賀茂社の神木への落雷			上賀茂社の神木への落雷	上賀茂社の神木への落雷
	鹿谷の宴会で瓶子を倒す成親 2	鹿谷の宴会	鹿谷の宴会で瓶子を倒す成親 *	鹿谷の宴会で瓶子の首をもぐ西光	
	多田行綱を呼び寄せた成親				
	加賀国目代と湧泉寺僧侶との乱闘	加賀国目代と湧泉寺僧侶との乱闘		加賀国目代と湧泉寺僧侶との乱闘	
	湧泉寺を焼く官人たち				
願立	目代の館を攻める白山の神人衆徒				
	白山の神人達が比叡山に訴える		白山の神人達が比叡山に訴える *		
	朝廷に訴える比叡山の大家たち			処分を祈念する比叡山の僧侶達	
	比叡山勢に矢を射かける頼春勢				
	比叡山の僧たちを追い返す武士達				
御輿振	関白を呪う比叡山の僧侶達				
	関白邸突き立つ櫓の枝				
	関白の病氣平癒祈願の牛車 *	関白の病氣平癒祈願の牛車 *	関白の病氣平癒祈願に行く母 *		関白の病氣平癒祈願に行く母
	関白家に託宣を示す少女				
	病の平癒した関白師通		再び病に付す関白師通 *		
内裏炎上	関白の死を嘆く女房達	死んだ関白と嘆く女房達 *			
	比叡山の神輿と頼政軍		比叡山の神輿と頼政軍	比叡山の神輿と頼政軍	比叡山の神輿と頼政軍と重盛軍
	比叡山勢に矢を射かける重盛勢	比叡山勢に矢を射かける重盛勢	比叡山勢に矢を射かける重盛勢 *	比叡山勢に矢を射かける重盛勢	
	院御所の公卿詮議				
	祇園社に仮置される比叡山の神輿				
大内裏の炎上	比叡山勢入京の噂に移動する天皇				
	比叡山への使者を務める平時忠 2	比叡山への使者を務める平時忠	比叡山への使者を務める平時忠 *		
	大内裏の炎上	大内裏の炎上		大内裏の炎上	
卷二 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(上)
座主流		公卿達と座主明雲 *	公卿達と座主明雲 *		
	明雲の罪を議す公卿達 2			明雲の罪を議す公卿達	
	明雲と追い立ての武士達				

	西光父子を呪詛する大衆				
	流される途中の明雲 2	流される途中の明雲*	流される途中の明雲*	流される途中の明雲*	
	比叡山の衆徒が詮議 2	比叡山の衆徒が詮議*	比叡山の衆徒が詮議*	比叡山の衆徒が詮議*	
	明雲奪還に向う大衆				
	比叡山に戻った明雲 3	比叡山に戻る奥の明雲*	比叡山に戻った明雲*	明雲に奥を勤める祐慶	
一行阿闍梨	九曜の形を見る一行阿闍梨		九曜の形を見る一行阿闍梨*		
西光被斬	法皇に奏上する西光				
	清盛に密告する行綱 2		清盛に密告する行綱*		
	資成の復命を聞く清盛				
	清盛邸で捕まる成親 2	清盛邸で捕まる成親	清盛邸で捕まる成親	清盛邸で捕まる成親	清盛邸で捕まる成親
	西光が清盛に言い返す 4		西光が清盛に言い返す*	西光が清盛に言い返す	
小教訓	引き据えられる成親 2		引き据えられる成親		
	成親の命乞をする重盛 4	成親の命乞をする重盛	成親の命乞をする重盛*	成親の命乞をする重盛	
	嘆く成親の家族 2				
少将乞請	法皇に別れを告げる成経 3		法皇の側近に別れを告げる成経*		
	教盛と対面する成経 2				
	教盛から清盛への使者となる季貞 2	清盛と家臣(清盛に伝える季貞か)	教盛から清盛への使者となる季貞	季貞に使者を命じる教盛 2	
	教盛の屋敷に戻る成経 2		教盛の屋敷に戻る成経*		
教訓	法皇に抗し武装する清盛		法皇に抗し武装する清盛*		
	重盛に諫められる清盛 4	清盛と武装した兵士たちと公卿	重盛に諫められる清盛	重盛に諫められる清盛	重盛に諫められる清盛
烽火	武士を自邸に集めさせる重盛 4	重盛邸に集まる武士達*			
	重盛邸に集まった武士達	重盛邸に集まった武士達*	重盛邸に集まった武士達*	重盛邸に集まった武士達	
新大納言被流	流罪となる成親の車と船 3	流罪となる成親の船*	流罪となる成親の船*	流罪となる成親の車	
	備前見島に着いた成親 2	備前見島に着いた成親*	備前見島に着いた成親*		
阿古屋之松	幼い息子に語りかける成経 2	幼い息子に語りかける成経	幼い息子に語りかける成経	幼い息子に語りかける成経	
	成親の配所を尋ねる成経		成親の配所を尋ねる成経*		成親の配所を尋ねる成経か
新大納言死去		成親の北の方が文を書く		成親の北の方が文を書く	
	北の方が文を信俊に託す				
	手紙を読む成親 2				
				成親から返事を預かる信俊	
	返事を見て泣く北の方		返事を読む北の方*		
	崖から突落とされた成親				
	出家する成親の北の方				
徳大寺殿島詣	実定に重兼が提案する		実定に重兼が提案する*	実定に重兼が提案する	
	殿島神社社殿と実定の船			殿島神社社殿と実定の船	
	清盛に会う殿島内侍達 3				
		清盛と公卿たち(徳大寺左大将か)			
山門滅亡	四天王寺に詣でる法皇				
	比叡山の衆徒と堂衆の戦	比叡山の衆徒と堂衆の戦	比叡山の衆徒と堂衆の戦	比叡山の衆徒と堂衆の戦	
	荒れ果てた比叡山				
善光寺炎上	炎上する善光寺	炎上する善光寺	炎上する善光寺*	炎上する善光寺	

康頼祝詞	鬼界島の成経と康頼 3	鬼界島の成経と康頼	鬼界島の成経、康頼と俊寛*	鬼界島の成経康頼	
卒塔婆流	卒塔婆を流す康頼成経 2			卒塔婆を流す康頼成経	
	厳島で卒塔婆を拾う僧 2				厳島で卒塔婆を拾う僧
	卒塔婆と留守家族 3	泣く留守家族か	卒塔婆と留守家族*	卒塔婆と留守家族	
蘇武	雁に手紙を託す蘇武	雁に手紙を託す蘇武			
	手紙を読む昭帝 2				
	蘇武と帰還する漢軍 3				
	昭帝の前の蘇武 3		昭帝の前の蘇武*		

卷三 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(上)
赦文	高倉天皇の朝覲行幸				
	彗星の出現				
	中宮の安産祈願 3	中宮の安産祈願*	中宮の安産祈願	中宮の安産祈願	
	赦免を勧める重盛 3				
	赦免状を下す清盛 2	赦免状を書かせる清盛*	赦免状を下す清盛*	赦免状を書かせる清盛	
足摺	赦免状を読む俊寛	赦免の船と成経康頼俊寛*		赦免状を読む俊寛	
	成経の袂に縋り付く俊寛				
	渚で足摺りして泣く俊寛 3	渚で足摺りして泣く俊寛*	渚で足摺りして泣く俊寛*	渚で足摺りして泣く俊寛	渚で足摺りして泣く俊寛
御産巻	鹿瀬庄の成経と康頼				
	産所の頼盛邸に来る人 2				
	施物を献上する重盛				
	安産祈願の僧たちと清盛	出産の心配をする清盛*		安産祈願の僧たちと清盛	
	安産祈願の後白河法皇				
	中宮の出産 3	中宮の出産*	中宮の出産	中宮の出産	中宮の出産
公卿揃	法皇へ献上品を渡す平家	門前に集まる馬*			
		清盛と公卿たち*	清盛に出産祝を言う公卿*		
大塔建立	僧侶らに勸賞を行う天皇				
	高野山で告げる高僧 3	社殿前の老僧と一行		高野山で告げる高僧	
	曼荼羅を描く清盛				
	厳島で小長刀を賜る清盛		厳島で小長刀を賜る清盛	厳島で小長刀を賜る清盛	
頼豪		天皇の前の僧侶*			
	呪詛する頼豪	呪詛する頼豪*	呪詛する頼豪*	呪詛する頼豪	
	皇子の病床に現れた僧 2				
	皇子誕生を祈る良貞 2				
少将都還	成親の筆跡を読む成経 3			成親の筆跡を読む成経等	
	成親供養の成経と康頼		成親供養の成経と康頼*		
	父の別荘で泣く成経等 2				
					同じ牛車で還る成経と康頼★
	家族と対面する成経 4	家族と対面する成経*	家族と対面する成経*	家族と対面する成経	

		双林寺に落ち着いた康頼*			
有王鳥下	俊寛へ文を預かる有王 2				
	俊寛と有王の再会 5	俊寛と有王の再会*	俊寛と有王の再会*	俊寛と有王の再会	俊寛と有王の再会
		倒れ伏した俊寛*			
	娘の手紙を読む俊寛 2				
	俊寛を葬る有王 2				
	俊寛の死を報告する有王 2		俊寛の死を報告する有王*		
辻風	治承四年五月辻風の災 2		治承四年五月辻風の災*	治承四年五月辻風の災	
医師問答	熊野本宮に参る重盛 2		熊野本宮に参る重盛*		
	重盛に名医を勧める使者		重盛に名医を勧める使者*	重盛に名医を勧める使者	重盛に名医を勧める使者
	使者の報告を聞く清盛				
	出家する重盛と泣く人々 2				
無紋沙汰	夢の話を書く重盛 2				
	無紋の刀を与える重盛 2	無紋の刀を与える重盛*	無紋の刀を与える重盛*	無紋の刀を与える重盛	
灯籠	重盛の行う念仏供養	重盛の行う念仏供養*	重盛の行う念仏供養*	重盛の行う念仏供養	
金渡	重盛は妙典に寄進を託す				
	育王山へ寄進する妙典 2				
法印問答	地震を占う安部泰親 2	地震を占う安部泰親*	地震を占う安部泰親*		
	清盛と問答をする静憲 2	清盛と問答をする静憲*		清盛と問答をする静憲	清盛と問答をする静憲
大臣流罪			清盛の前に座る公卿たち*		
	出家する関白基房				
		配流される大臣の輿*		配流される大臣の輿	
		騎馬の一団*			
	配所で琵琶を弾く師長 3				
		話す公卿と僧(金渡②の重盛か)*			
		病に臥す公卿(金渡②の重盛か)*			
行隆之沙汰	自邸で切腹する遠業 2		自邸で切腹する遠業		
	清盛に呼ばれ喚く行隆 3	門前の迎えの車*		清盛に呼ばれ悲しむ行隆	
	行隆に清盛の贈物が届く	男を囲む女房達*	行隆に清盛の贈物が届く*		
法皇御遷幸	御所を囲む平家の軍勢 3				
	鳥羽殿に遷される法皇 3				
	鳥羽殿を訪れる静憲 3		鳥羽殿を訪れる静憲*	鳥羽殿を訪れる静憲	
	悲しみに沈む中宮				
城南之離宮		天皇に奏上する宗盛か*			
	天皇の文を見る法皇 2	法皇の文を見る天皇*			
	天皇に奏上する宗盛				
	離宮で冬を過ごす法皇		離宮で冬を過ごす法皇*	離宮で冬を過ごす法皇	
卷四 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(上)
殿島御幸	離宮に幽閉される後白河法皇 4				
	静まり返る高倉上皇邸 2				

	巖島行幸に出立する高倉上皇 法皇に会うと宗盛に告げる上皇 3	巖島行幸に出立する高倉上皇 *			
				成範が法皇に上皇の到着を伝える	
還御	高倉上皇と語らう後白河法皇 5	高倉上皇と語らう後白河法皇 *	高倉上皇と語らう後白河法皇 *		
	巖島社に到着した高倉上皇 4		巖島社に到着した高倉上皇		
	掃途藤花を取らせる高倉上皇 2	高倉上皇の船 *		掃途藤花を取らせる高倉上皇	
	平家に勳賞する高倉上皇 3				
	鳥羽の津に還御した高倉上皇				
	安徳天皇の即位式	安徳天皇の即位の御典 *			
源氏捕	新帝即位の記録を見る二位殿				
	以仁王に源頼政が挙兵を勧める	以仁王に源頼政が挙兵を勧める *	以仁王に源頼政が挙兵を勧める *	以仁王に源頼政が挙兵を勧める	
	東国へ下知する以仁王 3				
	熊野別当湛増が反乱鎮圧に失敗	熊野別当湛増が反乱鎮圧に失敗 *	熊野別当湛増が反乱鎮圧に失敗	熊野別当湛増が反乱鎮圧に失敗	
鼈之沙汰	後白河法皇の館で騒ぐ鼈	後白河法皇の館で騒ぐ鼈 *		後白河法皇の館で騒ぐ鼈	後白河法皇の館で騒ぐ鼈
		鼈の事を占う阿部泰親 *			
	占いの返事を読む法皇 3				
	法皇の還御を宗盛が清盛に嘆願 2				
	謀反の知らせを受ける清盛 3				
信連合戦	女装して川を渡る以仁王 3			女装して川を渡る以仁王	女装して川を渡る以仁王
	宮に笛を渡す信連 2				
	宮の館に残った信連	宮の館に押しかける平家勢 *			
	ただ一人立ち向かい奮戦する信連	ただ一人立ち向かい奮戦する信連 *	ただ一人立ち向かい奮戦する信連 *	ただ一人立ち向かい奮戦する信連	
	生け捕りにされる信連 2				
	宗盛の前に引き出された信連		宗盛の前に引き出された信連 *	宗盛の前に引き出された信連	
高倉宮園城寺入御 競	法輪院に落ち着く以仁王 2				
	自邸を焼き三井寺に向う頼政 2				
	宗盛の名馬をせしめた競 4	宗盛に呼ばれた競 *		宗盛が仲綱の馬に焼印を押すところ★	宗盛の馬をせしめた競が逃れるところ
	競に謀られたことを知る宗盛 2				
	頼政の下で馬に焼印するところ 3	頼政の下で馬に焼印するところ *	頼政の下で馬に焼印するところ *	頼政の下で馬に焼印するところ	
山門牒状	比叡山へ牒状を記す三井寺大衆 2	文を書く僧侶達 *		比叡山へ牒状を記す三井寺大衆	文を書く僧侶
南都牒状	比叡山の衆徒は牒状に怒る 2			比叡山は三井寺には加担しない	
南都返牒		僧侶達と男 *	興福寺の返状を読む三井寺僧達 *	興福寺の大衆は助力を待てと返状	
大衆揃	夜討を巡り真海と慶秀の長詮議 3		夜討を巡り真海と慶秀の長詮議	夜討を巡り真海と慶秀の長詮議	夜討を巡る長詮議
	松明を持って出陣する三井寺勢 4	松明を持って出陣する三井寺勢 *	松明を持って出陣する三井寺勢 *		
	三井寺を出る以仁王 2	三井寺を出る以仁王 *		三井寺を出る以仁王	
橋合戦	宇治橋から落下する平家軍		宇治橋から落下する平家軍		
	矢切り但馬の奮戦	矢切り但馬が浄妙坊の奮戦 *			
	長刀を振るう浄妙坊		一人橋の上で戦う浄妙坊		
	浄妙坊の肩を一来法師が超える 2			浄妙坊の肩を一来法師が超える	浄妙坊の肩を一来法師が超える
	忠綱一党が馬筏となり川を渡る 2	忠綱一党が馬筏となり川を渡る *	忠綱一党が馬筏となり川を渡る		

宮御最期	平等院に討ち入る軍勢 3				
	平等院で戦う源氏軍と平家軍 4		平等院で戦う源氏軍と平家軍		
	切腹する頼政 4			切腹する頼政	
	景家の軍勢に討たれる以仁王	景家の軍勢に討たれる以仁王	景家の軍勢に討たれる以仁王*	景家の軍勢に討たれる以仁王	景家の軍勢に討たれる以仁王
	宮を迎えに来た興福寺勢 3				
若宮御出家	凱旋する平家の軍勢 2	以仁王の首実験をさせられる女*			
	若宮の不在を報告する頼盛 2				
	別離を悲しむ女院たちと若宮 3	出家させられる若宮*	別離を悲しむ女院たちと若宮	別離を悲しむ女院たちと若宮	
	出家させられる若宮 2				
鶴	天皇のおびえに詮議する公卿たち				
	怪物に弓をつがえる頼政 2	怪物に弓をつがえる頼政*	怪物に弓をつがえる頼政*	怪物に弓をつがえる頼政	怪物に弓をつがえる頼政
	御剣を賜り歌を詠む頼政	御剣を賜り歌を詠む頼政*			御剣を賜り歌を詠む頼政か
	弓をつがえる頼政 2				
三井寺炎上	攻める平家勢と応戦する三井寺勢				
	戦う三井寺勢と炎上する三井寺	炎上する三井寺	戦う三井寺勢と炎上する三井寺*	戦う三井寺勢と炎上する三井寺	

巻五 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(上)
都遷	内裏を出発する福原行幸の行列	福原行幸の行列	内裏を出発する福原行幸の行列	内裏を出発する福原行幸の行列	
	頼盛邸の安德天皇				
	船で福原に引越す人々 2				
新都	新都造営の測量をする人々 2			新都造営の測量をする人々	
			清盛が那纏に内裏造営をさせる*		
月見	月見に船を出す公卿達	月見に船を出す公卿達*			
	大宮御所を訪ねる実定		大宮御所を訪ねる実定*	大宮御所を訪ねる実定	
	大宮と対面する実定	大宮と対面する実定*			大宮と対面する実定
	歌を詠み交わす蔵人と小侍従 2				
物怪	清盛の寝所に現れた巨大な顔 2				天狗と当番の衆★
			清盛が怪夢を語る*		
	清盛の見た大髑髏・馬尾の鼠 3	馬の尾に鼠が巣を作る*	馬の尾に鼠が巣を作る*	清盛の前に現れた大髑髏	清盛の前に現れた大髑髏
					馬の尾に鼠が巣を作る★
	雅頼の若侍の夢見を聞く	清盛と若侍*			
大庭早馬	夢見の話を解釈する成頼				
	早馬で頼朝拳兵の知らせが届く 2	頼朝拳兵の知らせが届く*	頼朝拳兵の知らせが届く*	頼朝拳兵の知らせが届く	頼朝拳兵の知らせが届く
		顔を合わせる侍達*			
朝敵揃	頼朝拳兵の報に怒る清盛 2		頼朝拳兵の報に怒る清盛*	頼朝拳兵の報に怒る清盛	
咸陽宮	太子丹を放免する始皇帝 2		太子丹を放免する始皇帝*		
	荆軻を大臣にする太子丹 3				
	荆軻に加担する樊於期 2				
	始皇帝を襲う荆軻 2	刀を持って駆け寄る兵達*			
	花陽夫人の機転で逃げる始皇帝	花陽夫人の機転で逃げる始皇帝*		花陽夫人の機転で逃げる始皇帝	

文覚荒行	竹藪で苦行を試みる文覚 2				
	那智滝で苦行する文覚 2	社殿(那智社か) *	那智滝で苦行する文覚 *	那智滝で苦行する文覚	那智滝で苦行する文覚
	苦行を強行する文覚 2	那智滝で苦行する文覚 *			
	荒行を成就する文覚				
勸進帳	管弦中に勸進帳を読上げる文覚	抵抗して暴れる文覚 *	管弦中に勸進帳を読上げる文覚 *	管弦中に勸進帳を読上げる文覚	管弦中に勸進帳を読上げる文覚
文覚被流	抵抗して暴れる文覚	管弦の楽 *	抵抗して暴れる文覚	抵抗して暴れる文覚	
	取り押さえられる文覚				
	引立てられる文覚 2				
	観音への手紙を代筆させる文覚				
		流罪の船の文覚 *		流罪の船の文覚	流罪の船の文覚
	竜神を叱る文覚 2	竜神を叱る文覚 *	竜神を叱る文覚 *		
伊豆院宣	頼朝に拳兵を勧める文覚	頼朝に拳兵を勧める文覚 *			
	福原に院宣をもらいに行く文覚 2				
	頼朝に院宣を渡す文覚 2	頼朝に院宣を渡す文覚 *	頼朝に院宣を渡す文覚 *	頼朝に院宣を渡す文覚	
富士川	東国へ行進する平家の軍勢			東国へ行進する平家の軍勢	
	女と別れの歌を詠み交わす忠度 3		女と別れの歌を詠み交わす忠度 *		
	富士川に軍を敷く平家勢				
	怖気づく平家軍 3	怖気づく平家軍 *	怖気づく平家軍 *		
	水鳥の羽音に逃げ出す平家軍 (4)	水鳥の羽音に逃げ出す平家軍 *	水鳥の羽音に逃げ出す平家軍 *	水鳥の羽音に逃げ出す平家軍	水鳥の羽音に逃げ出す平家軍
	八幡大菩薩に感謝する頼朝				
五節之沙汰	敗戦の詮議をする平家の人々 2	敗戦の詮議をする平家の人々 *	敗戦の詮議をする平家の人々	敗戦の詮議をする平家の人々	敗戦の詮議をする平家の人々
	福原の新内裏に入る安徳天皇	福原の新内裏の安徳天皇か *			
都還	京都へ還る人々 3			京都へ還る安徳天皇の一行	
		近江進軍を命じる清盛か *			
	近江へ進軍する平家勢	近江へ進軍する平家勢 *			
奈良炎上	奈良から逃げ帰る忠成 2				
	首を晒される兼康の兵達				
	奈良へ進軍し戦う平家軍 2	興福寺衆徒と戦う平家軍 *	奈良へ進軍する平家軍 *	興福寺衆徒と戦う平家軍	
			戦う平家軍と炎上する民家		
	炎上する東大寺大仏殿	炎上する東大寺大仏殿か *		炎上する東大寺大仏殿	
	清盛に戦果を報告する重衡 2				

巻六 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面 (上～中)
新院崩御	静まり返る清涼殿と参内した成宝	御簾の降りた室内 *			
		経を読む僧侶達 *	経を読む僧侶達 *		
	高倉上皇崩御を悲しむ女房達 4				
紅葉			紅葉を楽しむ高倉上皇 *		
		紅葉を焚いてしまう下部たち *		紅葉を焚いてしまう下部たち	紅葉を焚いてしまう下部たち
	葉を落とした紅葉を見る高倉天皇 2	下部に事情を聞く *			
	荷を奪われた少女を助ける天皇 3				

葵前	高倉天皇に進言する隆房 葵前に文を送る天皇 2	横たわる天皇に進言する隆房*		葵前に手紙を送る天皇	高倉天皇に進言する隆房か
		天皇の文を見る葵前*	天皇の文を見る葵前*		
小督	小督に文を送る隆房 仲国に小督を尋ねさせる天皇 2		仲国に小督を尋ねさせる天皇*	仲国に小督を尋ねさせる天皇	
	小督を探しあてる仲国 4 小督の返事を預かる仲国 2	小督を探しあてる仲国* 小督の返事を預かる仲国*	小督を探しあてる仲国*	小督を探しあてる仲国	小督を探しあてる仲国
	返事を読む高倉天皇 内裏へ向かう小督			内裏へ向かう小督	
			内裏へ戻った小督*		
	剃髪させられる小督 2 高倉上皇の崩御を嘆く後白河上皇				
廻文	清盛が畿島の姫君を法皇に送る 平家追討を企てる木曾義仲 2		平家追討を企てる木曾義仲*	平家追討を企てる木曾義仲	
飛脚到来	義仲蜂起の知らせが清盛に届く 兵乱鎮圧の祈願が行われる 2	協議する侍達*		義仲蜂起の知らせが清盛に届く	
	義基邸を攻める平家軍 2	出陣する兵士達* 館を襲う兵士達*	義基邸を攻める平家軍		
	西海の謀反の知らせを受ける清盛	門前で戦う兵達と室内の男女*	西寂を攻める河野通信*		
入道逝去	源氏追討を命じる後白河法皇 2 熱病に罹り水風呂に入る清盛 2	病付く清盛*	熱病に罹り水風呂に入る清盛*	遺言を語る清盛	
	遺言を語る清盛 2 悶死する清盛と弔問の人々 2	板の間で水を溶びる清盛*	清盛の死に弔問する人々		
経島	葬送の夜の変事と捕まった人々 3	葬送の夜に騒ぐ人々* 捕まって事情聞かれる人々*		捕まって事情聞かれる人々	葬送の夜の変事
	経島の造営工事				
慈心房	閻魔王の宣旨を読む尊恵 閻魔王宮への迎えの車と尊恵				
	閻魔王宮の尊恵	閻魔王宮の尊恵* 尊恵を迎える菩薩達*	閻魔王宮の尊恵		
	清盛にこの夢を語る尊恵 2			清盛にこの夢を語る尊恵	
祇園女御	白河法皇の前に異形の者が出現 異形の油坊主を捕える忠盛	異形の油坊主を捕える忠盛*	異形の油坊主を捕える忠盛	異形の油坊主を捕える忠盛	異形の油坊主を捕える忠盛
	法皇と歌を詠み交わす忠盛	法皇と歌を詠み交わす忠盛か*			
洲股合戦	法住寺殿へ渡御を勧める宗盛 2 大仏殿の起工式を行う行隆				
	源氏と尾張川を挟んで戦う知盛 2 矢作川の陣で平家を迎える源氏	源氏と尾張川を挟んで戦う知盛	源氏と尾張川を挟んで戦う知盛	源氏と尾張川を挟んで戦う知盛	源氏と尾張川を挟んで戦う知盛
嗚声	黒雲に覆われ落馬し死ぬ助長 3 助長頓死の知らせを聞く平家 2	黒雲に覆われ落馬し死ぬ助長	黒雲に覆われ落馬し死ぬ助長	黒雲に覆われ落馬し死ぬ助長	
	配流より戻り衆を披露する師長ら				

横田河原合戦	内裏で大仁王会が行われる 4 日吉社における法華経転読供養 内裏を固める平家軍 3 還御する法皇と迎える重衡軍 4 偽りの赤旗を掲げる義仲軍				
	宗盛の昇進に華やぐ六波羅 法住寺殿に行幸する安徳天皇	謀られて敗走する平家軍	日吉社に行幸する法皇* 横田河原で対峙する両軍	内裏を固める平家軍	謀られて敗走する平家軍

巻七 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(中)
北国下向	人質の義仲の息子と対面する頼朝 義仲追討に北国へ下る平家軍 2 竹生島へ船を出させる経正	鎧姿の武者と対面する若武者* 門前で旗を掲げる軍勢*	義仲と人質になる息子との別れ 民家から略奪する平家軍*	義仲と人質になる息子との別れ 義仲追討のため北国へ下る平家軍	義仲と人質になる息子との別れ
竹生島詣 火打合戦	弁財天社の前で琵琶を弾く経正 2 火打城を攻めめぐねる平家軍 2 鎗矢で攻略法を教える齋明 3 水を落として攻め込む平家軍 3 篠原で対峙する源平両軍 2	弁財天社の前で琵琶を弾く経正 城内の義仲勢* 火打城を攻めめぐねる平家軍*	弁財天社の前で琵琶を弾く経正* 火打城を攻めめぐねる平家軍	弁財天社の前で琵琶を弾く経正 火打城を攻めめぐねる平家軍	弁財天社を詣でる経正 火打城を攻めめぐねる平家軍
木曾願書	覚明に願書を書かせる義仲 2 八幡社に勝利を祈願する義仲	覚明に願書を書かせる義仲	覚明に願書を書かせる義仲*	覚明に願書を書かせる義仲	覚明に願書を書かせる義仲
俱利伽羅落	対峙したまま日暮れを待つ義仲軍 平家を俱利伽羅谷へ追い落とす 2 首を切られる齋明 3 水見の湊を馬で攻め込む義仲軍 3	平家を俱利伽羅谷へ追い落とす	平家を俱利伽羅谷へ追い落とす	対峙したまま日暮れを待つ義仲軍 平家を俱利伽羅谷へ追い落とす	平家を俱利伽羅谷へ追い落とす
篠原合戦	仲間達と覚悟をしあう齋藤実盛 2 畠山勢と今井勢の決戦			仲間達と覚悟をしあう齋藤実盛	
	助けた行重に討たれる長綱 2 立ったまま討死する有国	助けた行重に討たれる長綱	助けた行重に討たれる長綱*	行重を助けてやった長綱	
実盛最期	手塚主従に討たれる実盛・首実検 2	手塚主従に討たれる実盛	実盛の首実検をする義仲*	手塚主従に討たれる実盛 実盛の首実検をする義仲	手塚主従に討たれる実盛 実盛の首を洗わせる義仲
玄昉	戦死者を弔う都の人々 2 玄昉の首を持ち去る広嗣の亡霊 興福寺に降った玄昉の髑髏	戦死者を弔う都の人々*			興福寺に降った玄昉の髑髏
木曾山門牒状	義仲は山門への牒状を書かせる	門前の武士達* (聖主臨幸①か) 鎧武者達と三人* (聖主臨幸①か)	義仲は山門への牒状を書かせる*	義仲は山門への牒状を書かせる	
山門返牒	山門は義仲に加担の返牒をする 山門の返牒を読む義仲	読経する僧達と書状を囲む僧侶達	山門は義仲に加担の返牒をする*	山門は義仲に加担の返牒をする	
平家山門連署	平家も山門に連署で願書を出す			平家から願書を受け取る明雲	

	日吉社に平家の願書を出す明雲			平家の願書を読む山門の僧侶達*	
主上都落	源氏に怯え荷造りする平家の人々 義仲を迎え討つため集まる平家 建礼門院に都落ちを進言する宗盛 後白河法皇の行方を捜す宗盛 2 出発する安徳天皇 2 都落ちの列から抜ける藤原基通				建礼門院に都落ちを進言する宗盛 出発する安徳天皇 出発する天皇と列から抜ける基通 列から抜けた基通
維盛都落	家族に縛られ出発しかねる維盛 2 遅れた維盛に催促する平氏 維盛に追いつがる齋藤兄弟 平家に焼き払われる京の家々	家族に縛られ出発しかねる維盛* 遅れた維盛に催促する平氏* 遅れた維盛に催促する平氏	遅れた維盛に催促する平氏	遅れた維盛に催促する平氏	遅れた維盛に催促する平氏
聖主臨幸	関東武者の命乞いをする知盛 2	書状の作成* (木曾山門隠状①か) 協議する僧* (山門返牒状①か)	関東武者の命乞いをする知盛*		
忠度都落	藤原俊成に和歌を差し出す忠度 2	藤原俊成に和歌を差し出す忠度	藤原俊成に和歌を差し出す忠度*	藤原俊成に和歌を差し出す忠度	藤原俊成に和歌を差し出す忠度
経正都落	経正は法親王に琵琶を返す 経正を見送る法親王 2	経正は法親王に琵琶を返す	経正は法親王に琵琶を返す*	経正は法親王に琵琶を返す	経正は法親王に琵琶を返す
青山之沙汰	宇佐八幡で名器青山を弾く経正 村上天皇に秘曲を授ける廉承武	村上天皇に秘曲を授ける廉承武* 居並ぶ公卿たち*	村上天皇に秘曲を授ける廉承武*		村上天皇に秘曲を授ける廉承武
一門都落	一行から途中で引き返す頼盛 2 常盤殿に命乞いする頼盛 平家の一行に追いつく維盛兄弟 宗盛に進言する貞能 重盛の墓前で嘆く貞能 2	都落ちする一門* 平家の一行に追いつく維盛兄弟か* 宗盛に進言する貞能か	都落ちする一門		一行から途中で引き返す頼盛 重盛の墓前で嘆く貞能*
福原落	宗盛に忠誠を誓う平家の人々 福原の御所を見て回る人々 福原に火を放ち船を出す平家一門 2	福原に火を放ち船を出す平家一門	福原から船を出す平家一門	福原に火を放ち船を出す平家一門	

巻八 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(中)
山門御幸	後白河法皇は比叡山に通れる 3 比叡山に詰めかけた貴族達	守護する源氏の一団* 比叡山から還御する後白河法皇*	比叡山から還御する後白河法皇*	比叡山から還御する後白河法皇 院宣を受ける義仲と行家	
	戻って義仲らに院宣を下す法皇 法皇に懐く第四皇子 2 範光の叙位を沙汰する後鳥羽天皇		法皇に懐く第四皇子*	法皇に懐く第四皇子	
名虎	安楽寺に参集し歌を詠む平家 2 皇位継承の競馬を見守る公卿達 皇位継承の相撲の能雄と名虎	皇位継承の相撲の能雄と名虎	皇位継承の競馬を見守る公卿達 皇位継承の相撲の能雄と名虎	皇位継承の競馬を見守る公卿達 皇位継承の相撲の能雄と名虎	

	惠亮の祈りによって勝利する能雄 2				
宇佐行幸	第四皇子の即位を聞く平家一門				
	筑紫の仮御所 2				
	宇佐八幡へ行幸した平家一門	宇佐八幡へ行幸した平家一門	宇佐八幡へ行幸した平家一門	宇佐八幡へ行幸した平家一門	宇佐八幡へ行幸した平家一門
			大宰府に戻った安徳天皇*		
	名月に都をしのぶ平家一門 2				
緒環	平家追い出しを告知される維義				
	維義の祖先の女と相手の男 3				維義の祖先の女と相手の男
	正体を現す大蛇と維義の祖先の女	正体を現す大蛇と維義の祖先の女		正体を現す大蛇と維義の祖先の女	
	女と大蛇の間に生まれた戦太				
大宰府落	説得に来た資盛を追い返す維義				
	使者維村に説き聞かせる時忠				
	維義方を攻める平家勢				
	雨中、大宰府を落ち行く平家一門	大宰府を落ち行く平家一門	大宰府を落ち行く平家一門	雨中、大宰府を落ち行く平家一門	大宰府を落ち行く平家一門(錯簡)
	平家を迎え入れる兵藤次秀遠				
	流離う平家の船から入水する清経			流離う平家の船から入水する清経	流離う平家の船から入水する清経
	屋島沖で暮らす平家一門 2				
征夷將軍院宣	院宣を受け取る三浦義澄		院宣を受け取る三浦義澄	院宣を受け取る三浦義澄	
	引き出物を受け取る康定 2				
	康定に対面する頼朝	康定に対面する頼朝	康定に対面する頼朝	康定に対面する頼朝	
	引き出物を受け取る康定 2				
猫間	法皇に報告する康定				
	義仲に食事を出される猫間中納言	義仲と猫間中納言*		義仲に食事を出される猫間中納言	
	義仲の牛車と追う兼平	牛車と騎馬の一行*		義仲の牛車と追う兼平	
	牛車の後ろから降りる義仲				
水島合戦	船を出す平家追討軍と平家の使者				
	源平入り乱れての船戦	源平入り乱れての船戦	源平入り乱れての船戦	源平入り乱れての船戦	源平入り乱れての船戦
瀬尾最期	瀬尾兼康が謀で倉光三郎を殺す 2			瀬尾兼康が謀で倉光三郎を殺す	瀬尾兼康が謀で倉光三郎を殺す
	館で老兵を集める瀬尾兼康				
	瀬尾追討に進軍する今井兼平 2				
	城中の瀬尾勢を攻める今井兼平	城中の瀬尾勢を攻める今井兼平*	城中の瀬尾勢を攻める今井兼平	城中の瀬尾勢を攻める今井兼平	
	退却する瀬尾勢を追う今井勢 2	退却する瀬尾勢を追う今井勢*			
	倉光次郎を水中で仕留める瀬尾 2			倉光次郎を水中で仕留める瀬尾	倉光次郎を水中で仕留める瀬尾
	息子小太郎を案ずる瀬尾兼康 3				
	奮戦する瀬尾兼康親子と郎党 3		奮戦する瀬尾兼康*	奮戦する瀬尾兼康親子と郎党	
室山合戦	進軍する義仲勢と通れる行家勢 2				
	行家勢を取り囲んで戦う平家軍	行家勢を取り囲んで戦う平家軍	行家勢を取り囲んで戦う平家軍	行家勢を取り囲んで戦う平家軍	
	船で河内長野に逃れる行家主従				
鼓判官	使者の鼓判官を侮る義仲 3			使者の鼓判官を侮る義仲	
	義仲追討を進言する知康 3				
	義仲に降参を進言する今井兼平		義仲に降参を進言する今井兼平*		



六箇度合戦	四国の兵船を追い払う教経勢				
	福良に攻め寄せた教経勢 2				
	二騎になるまで戦って逃げる通信 5		二騎になるまで戦って逃げる通信*	二騎になるまで戦って逃げる通信	
	忠景勢に攻めかかる教経勢 2			忠景勢に攻めかかる教経勢	
	安摩・園部の兵を討ち取る教経 2	安摩・園部の兵を討ち取る教経			
	通信ら源氏勢を追い散らす教経 2		通信ら源氏勢を追い散らす教経		
三草勢揃	院の御所に参上した範頼と義経				院の御所に参上した範頼と義経
	清盛の忌日に仏事を営む平家一門				
	福原で除目の沙汰をする宗盛				
	妻子を思い泣く維盛 2				
	西へ進軍する範頼軍と義経軍	西へ進軍する範頼軍と義経軍	西へ進軍する義経軍*	西へ進軍する範頼軍と義経軍	
	小野原に布陣する義経軍				
三草合戦	民家を焼き夜討ちに進む義経軍 2			民家を焼き夜討ちに進む義経軍	
	平家陣になだれ込む源氏軍	夜討で平家陣になだれ込む源氏軍	夜討で平家陣になだれ込む源氏軍	夜討で平家陣になだれ込む源氏軍	夜討で平家陣になだれ込む源氏軍
	船で屋島へ渡る資盛たち 2				
老馬	出陣を応諾する教経 2				通盛を諫める教経
	敵襲に備える教経勢 2	平家軍の陣*	敵襲に備える教経勢*		
	老馬を案内に山道を行く義経軍 2			老馬を案内に山道を行く義経軍	老馬を案内に山道を行く義経軍
	狐師に道案内を命じる義経	狐師に道案内を命じる義経*	狐師に道案内を命じる義経*	狐師に道案内を命じる義経	狐師に道案内を命じる義経
一二之駆	平山季重の様子を聞く熊谷直実 2				
	平家の木戸で熊谷に追いつく季重			平家の木戸で名乗る熊谷父子	
	奮戦する熊谷父子と季重	奮戦する熊谷父子と季重	奮戦する熊谷父子と季重	奮戦する熊谷父子と季重	
	徒歩で戦う熊谷父子 3			徒歩で戦う熊谷父子	徒歩で戦う熊谷父子
	替馬で奮戦する熊谷父子		敵陣へ単騎攻め込む季重*		
二度之駆	平家の木戸口を攻める源氏勢				
	敵陣へ突入する河原兄弟 2		敵陣へ突入する河原兄弟*		
	討死する河原兄弟	討死する河原兄弟*		討死する河原兄弟	討死する河原兄弟
	景高を先頭に攻込む梶原勢			景高を先頭に攻込む梶原勢	
	長男を捜し再度突入する景時 2		長男を捜し再度突入する景時*		
	崖を背に戦う梶原父子 2	崖を背に戦う梶原父子*		崖を背に戦う梶原父子	崖を背に戦う梶原父子
坂落	入り乱れて戦う両軍				
	鶴越を落ちた鹿を射る平家軍 2		鶴越を落ちた鹿を射る平家軍	鶴越を落ちた鹿を射る平家軍	鶴越を落ちた鹿を射る平家軍
	馬を落としてみる義経	平家の陣と鶴越を下る義経軍		馬を落としてみる義経	馬を落としてみる義経
	炎上する陣と船へ逃れる平家軍		炎上する陣と船へ逃れる平家軍	炎上する陣と船へ逃れる平家軍	
	船で屋島へ向かう教経たち 2				
盛俊最期	知盛に一の谷の敗戦を伝える 2				
	則綱を助け休息する盛俊	則綱を助け休息する盛俊*		則綱を助け休息する盛俊	則綱を助け休息する盛俊
	盛俊の首を取る則綱	盛俊の首を取る則綱*	盛俊の首を取る則綱*		
忠度最期	腕を切られ討たれる忠度	腕を切られ討たれる忠度*	腕を切られ討たれる忠度*	腕を切られ討たれる忠度	腕を切られ討たれる忠度
	忠度の残した歌を読む六弥太	忠度の残した歌を読む六弥太*			

重衡生捕	馬を射られた重衡 2	馬を射られた重衡*		馬を射られた重衡	馬を射られた重衡
	自害を止められた重衡	自害を止められた重衡*	自害を止められた重衡*		
敦盛最期	若武者を呼び返す熊谷直実 2	若武者を呼び返す熊谷直実*	若武者を呼び返す熊谷直実*	若武者を呼び返す熊谷直実	若武者を呼び返す熊谷直実
	若武者の悲運に泣く直実 2	若武者の首を取る直実*			
浜戦					業盛が土屋重行に討たれる★
	討ち死にする平家の武者達 2				討ち死にする平家の武者達
	父を助けて討死する知章 2	父を助けて討死する知章*		父を助けて討死する知章	父を助けて討死する知章
	船に逃げ延びた知盛と、井上黒	船に逃げ延びた知盛と、井上黒*		船に逃げ延びた知盛と、井上黒	船に逃げ延びた知盛と、井上黒
			陸に上がって嘶く井上黒		
	知章の死を聞いて泣く宗盛たち				
落足	沈む船から引き上げられる師盛	沈む船から引き上げられる師盛*	沈む船から引き上げられる師盛	沈む船から引き上げられる師盛	沈む船から引き上げられる師盛
	源氏勢に討たれる通勢 2	源氏勢に討たれる通勢*			
	海上をさすらう平家一門の船			海上をさすらう平家一門の船	
小宰相	通勢の死を聞き泣く小宰相	通勢の死を聞き泣く小宰相*		通勢の死を聞き泣く小宰相	
	入水する小宰相		入水する小宰相*	入水する小宰相	入水する小宰相
	小宰相の死体を引き上げる平家	小宰相の死体を引き上げる驚く平家*			
	小宰相を水葬にする平家の人々				
	小宰相と通勢の恋文の話 2				

卷十 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(下)
首渡	維盛の身を案じる北の方				
	都大路を渡される平家軍の首	引き回される牛車(内裏女房①か)	首を都大路を渡すよう求める源氏*	首を都大路を渡すよう求める源氏	
	維盛の病気を伝える斎藤兄弟				
		維盛の手紙を読む妻子*		維盛の手紙を読む妻子	
	返事を書く維盛の妻子 2				
	妻子の手紙に涙を流す維盛	妻子の手紙を受取る維盛*			
内裏女房	都大路を引き回される重衡		都大路を引き回される重衡	都大路を引き回される重衡	
	重衡に院宣を伝える定長				
	屋島への使者に伝言する重衡				
	申出て重衡の話相手をする知時 2			申出て重衡の話相手をする知時	
	重衡の手紙を読む内裏女房 2		重衡の手紙を読む内裏女房*		
	女房との対面の許しを乞う知時				
		牛車と門外で待つ武士達*			
	訪れた女房と語り合う重衡 2	訪れた女房と語り合う重衡 *		訪れた女房と語り合う重衡	重衡を訪れる内裏女房
	別れを惜しむ重衡と女房 2				
八島院宣	院宣に目を通す宗盛				院宣を聞く宗盛
請文	重衡の助命を訴える二位の尼	重衡の助命を訴える二位の尼*	重衡の助命を訴える二位の尼*	重衡の助命を訴える二位の尼	院宣を聞く二位の尼
	重衡への手紙を書く二位の尼 2	文に目を通す男*			
	請文を読む後白河法皇				
戒文	法然との対面を願う重衡				

	法然に後生の救いを求める重衡	法然に後生の救いを求める重衡*	法然に後生の救いを求める重衡*	法然に後生の救いを求める重衡	
	法然に受戒の礼を贈る重衡 2				
海道下	鎌倉へと護送される重衡 2	護送の奥*	鎌倉へと護送される重衡*		
	重衡と歌を取り交わす熊野の娘	護送の奥と街道の女達			
	街道を下る重衡一行			街道を下る重衡一行	
千手前	重衡に対面する頼朝	重衡に対面する頼朝*	重衡に対面する頼朝	重衡に対面する頼朝	
	女房の世話で身を清める重衡			女房の世話で身を清める重衡	
	女房の名を尋ねる重衡 2				
	千手前と朗詠に興じる重衡	千手前と朗詠に興じる重衡*	千手前と朗詠に興じる重衡	千手前と朗詠に興じる重衡	千手前と朗詠に興じる重衡
	千手前をねぎらう頼朝				
横笛	屋島を抜け出す維盛たち 2				
	横笛を追い返させる滝口入道 2	横笛を追い返させる滝口入道*	横笛を追い返させる滝口入道*	横笛を追い返させる滝口入道	横笛を追い返させる滝口入道
	高野山へ向かう滝口入道 2				
	滝口入道へ返歌をしたための横笛				
		滝口入道と合掌する人々*			
	滝口入道と対面する維盛				
高野	滝口入道に苦衷を訴える維盛				
	高野山内を巡拝する維盛一行		高野山内を巡拝する維盛一行*	高野山内を巡拝する維盛一行	高野山内を巡拝する維盛一行
維盛出家	滝口入道の修行を見守る維盛				
	出家する維盛主従		出家する維盛主従*	出家する維盛主従	
	武里に屋島への報告を命じる維盛				
	武士の一団とすれ違う維盛一行		維盛一行に畏まる武士の一団*		武士の一団とすれ違う維盛一行
熊野参詣	熊野本宮に参籠する維盛一行				
	那智滝の維盛一行と噂する僧侶達	那智滝の維盛一行*	那智社の維盛一行と噂する僧侶*	那智滝の維盛一行と噂する僧侶達	
維盛入水	島の松に名を書き付ける維盛			島の松に名を書き付ける維盛	
			入水のため沖に漕出す維盛一行*		
	入水する維盛	入水する維盛*			入水する維盛
三日平氏	帰途につく滝口入道と武里 2	御奥と武士たち(大嘗会沙汰①)か			
	武里の報告を聞く屋島の平家一門 2	奥の院の維盛一行* (高野②)か		武里の報告を聞く屋島の平家一門	
	崇徳上皇の霊を鎮める神社建立	奥の院参拝の一行* (高野②)か			
	頼盛の鎌倉下向の伴を断る宗清				
	宗清の不参を残念がる頼朝	頼朝邸門前*			
	頼朝は頼盛へ引出物を贈る	頼朝は頼盛へ引出物を贈る*	頼朝は頼盛へ引出物を贈る	頼朝は頼盛へ引出物を贈る	
	源氏と戦い敗れる伊賀・伊勢の兵				
藤戸	維盛の入水を聞く妻子たち		維盛の入水を聞く妻子たち*	維盛の入水を聞く妻子たち	
	平家の行末を案じる女人たち				
	後鳥羽天皇の即位礼				
	月夜に都を恋い歌を詠む行盛				
	海を渡れぬ源氏を挑発する平家軍	海を渡れぬ源氏を挑発する平家軍		海を渡れぬ源氏を挑発する平家軍	
		眠る源氏軍*			
	漁夫から浅瀬を聞き出す盛綱 2	漁夫から浅瀬を聞き出す盛綱*	漁夫から浅瀬を聞き出す盛綱*	漁夫から浅瀬を聞き出す盛綱	漁夫から浅瀬を聞き出す盛綱

	海に馬を乗り入れる盛綱			海に馬を乗り入れる盛綱	
	馬で押し渡って戦う源氏と平家軍			馬で押し渡って戦う源氏と平家軍	
	屋島へ退却する平家軍 2				
大嘗会之沙汰	御禊行幸の行列 2	文を読む公卿と尼君* (藤戸②か)			
	遊び呆ける範頼たち	屋内の公卿たち* (藤戸④か)			

巻十一 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本	根津美術館蔵 扇面(下)
逆櫓	平家追討の院宣を受ける義経 2			平家追討の院宣を受ける義経	
	行末を嘆く平家一門				
	梶原景時と争論する義経	梶原景時と争論する義経*	梶原景時と争論する義経*	梶原景時と争論する義経	
	強風に船出させる義経軍	強風に船出させる義経軍*		強風に船出させる義経軍	
	篝火で先導する義経の船				
勝浦合戦	上陸する義経軍				
	親家を引見する義経			親家を引見する義経	
	能遠の城を攻める義経勢 2	能遠の城を攻める義経勢	能遠の城を攻める義経勢		
	勝利を喜ぶ義経勢				
大坂越	屋島へと急ぐ義経軍 2				
	平家への使者を捕える義経勢			平家への使者を捕える義経勢	平家への使者を捕える義経勢
	屋島を急襲する義経軍 4	屋島を急襲する義経軍	屋島を急襲する義経軍		屋島を急襲する義経軍
	次々に名乗りを挙げる義経軍			次々に名乗りを挙げる義経軍	
嗣信最期	舌戦の末に射られる盛嗣 2		舌戦の末に射られる盛嗣*		
	教経に射落される嗣信 2	教経に射落される嗣信*	教経に射落される嗣信	教経に射落される嗣信	
	嗣信の死に泣く義経				
	嗣信の菩提を弔わせる義経	嗣信の菩提を弔わせる義経*			
那須与一	那須与一に扇を射るよう命じる義経				
	扇を射る那須与一	扇を射る那須与一	扇を射る那須与一	扇を射る那須与一	扇を射る那須与一
弓流	平家の武者を射倒す与一				
	上陸して攻める景清たち平家勢				
	美尾屋十郎の鎧をちぎった景清		美尾屋十郎の鎧をちぎった景清*	美尾屋十郎の鎧をちぎった景清	美尾屋十郎の鎧をちぎった景清
	弓を拾う義経をめぐる戦う両軍	弓を拾う義経をめぐる戦う両軍	弓を拾う義経をめぐる戦う両軍	弓を拾う義経をめぐる戦う両軍	弓を拾う義経をめぐる戦う両軍
	眠る源氏軍と敵を見張る義経				
志度合戦	志度浦に漕ぎ寄せかける平家軍 2				
	教能に平家が負けたと謀る義盛 2	教能に平家が負けたと謀る義盛*	教能に平家が負けたと謀る義盛*	教能に平家が負けたと謀る義盛	教能に平家が負けたと謀る義盛
	教能に降伏を勧めた義盛 2	降伏した教能を連れ帰る義盛*			
	遅れて屋島に到着した梶原勢				
	法皇に瑞光を報告する神主				
壇浦合戦	範頼軍に合流する義経軍				
	闘鶏で進退を占う別当湛増	闘鶏で進退を占う別当湛増*	闘鶏で進退を占う別当湛増*		
	源氏軍に漕ぎ寄せる湛増軍				
	義経と景時の同士討ちを止める源氏	義経と景時の同士討ちを止める*		義経と景時の同士討ちを止める源氏	義経と景時の同士討ちを止める源氏
	巧みに戦う梶原景時勢				

遠矢	平家軍に下知する知盛	陸地で向い合い弓を射る軍(?)			
	重能に問いたす宗盛				重能を討つべきだという知盛
	いっせいに矢を射かける平家軍	船上で矢を射かける軍勢*			
	平家に矢を射返すよう招く義盛	入り乱れて戦う両軍*			
	義盛の矢を射返す親清				
	仁井紀四郎を射返す浅利与一 3			仁井紀四郎を射返す浅利与一	仁井紀四郎を射返す浅利与一
	源氏軍に舞い降りる白旗		源氏軍に舞い降りる白旗		
先帝御入水	海豚の大群の吉凶を占う平家軍 2				
	女房達に敗戦を告げる知盛				
	帝とともに入水する二位の尼	帝とともに入水する二位の尼*	帝とともに入水する二位の尼*		帝とともに入水する二位の尼
能登殿最期	海から引上げられる建礼門院			引上げられる建礼門院と泳ぐ宗盛父子	
	内侍所の唐櫃を開けかける源氏軍	内侍所の唐櫃を開けかける源氏*			
	引き上げられる宗盛父子 2		引き上げられる宗盛父子		
	乳母子の景経の最期を見る宗盛				
	教経に追われて跳んで逃げる義経	教経に追われ跳んで逃げる義経*			教経に追われて跳んで逃げる義経
	実光兄弟を道連れに入水する教経	実光兄弟を道連れに入水の教経*	実光兄弟を道連れに入水する教経*	実光兄弟を道連れに入水する教経	実光兄弟を道連れに入水する教経
内侍所都入	平家軍と散らばる赤旗		平家軍と散らばる赤旗		
	平家の滅亡を奏する広嗣	剃髪する三人(維盛出家②)*			
	京に護送される平家の男女 2	修行者と侍達(維盛出家④)*			
	神器を迎えに鳥羽に向かう人々	僧達と通行人(熊野参詣①)*			
		社殿を拜む修行者達(熊野参詣①)*	都に戻された神器*		
一門大路被渡	二宮奉迎の牛車を見送る女院				
	都大路を引き回される宗盛たち	都大路を引き回される宗盛たち	都大路を引き回される宗盛たち	都大路を引き回される宗盛たち	
	眠る清宗に着物を掛ける宗盛				
平大納言文之沙汰	文箱の処遇を時実と相談する時忠	文箱の処遇を時実に尋ねる時忠*			
	文箱を時忠の娘に返す義経 2	文箱を時忠の娘に返す義経*		文箱を時忠の娘に返す義経	
	義経の所業に激怒する頼朝				
副将被斬	副将を抱いて泣く宗盛	副将を抱いて泣く宗盛*	副将を抱いて泣く宗盛	副将を抱いて泣く宗盛	
	副将を見送る宗盛父子				
	副将に斬りかかる兵士達 2				
	副将の首を斬る兵士達 2	副将の首を斬る兵士達*	副将の首を斬る兵士達*	副将の首を斬る兵士達	
	副将の首を抱いて入水した女房達				
腰越	鎌倉へ護送される宗盛父子と義経			鎌倉へ護送される宗盛父子と義経	
	頼朝に讒言する景時と集まる兵士	頼朝に讒言する景時*			
	金洗沢の間から追い返される義経				
	申し開きの状を書かせる義経	申し開きの状を書かせる義経*	申し開きの状を書き義経*		
大臣殿誅罰		噂する武士達*			
	頼朝の口上を畏まって承る宗盛	頼朝の口上を畏まって承る宗盛*	頼朝との対面を待つ宗盛父子	頼朝の口上を畏まって承る宗盛	
	都に護送される宗盛父子	宗盛に引導を渡す僧*			
	首を討たれる宗盛	首を討たれる宗盛*	首を討たれる宗盛父子*		
	父の最期を尋ねる清宗				

巻十二 章段	林原美術館蔵 絵巻	明暦二年 版本	真田宝物館蔵 絵本	明星大学蔵 絵本 (巻十二なし)	根津美術館蔵 扇面 (下)
重衡被斬		奈良へ送られる重衡*	奈良へ送られる重衡*		
	北の方と対面する重衡		北の方と対面する重衡*		
	髪を形見に北の方に渡す重衡				
	北の方と別れる重衡				
	奈良の大衆に引渡される重衡 2				
	斬首される重衡	斬首される重衡*	斬首される重衡*		
	泣き悲しむ尼僧達(長谷六代④か)				
大地震	大地震に逃げまどう人々	大地震に逃げまどう人々*			
	御所へ還御する法皇の一行 4	御所へ還御する法皇の一行*	御所へ還御する法皇の一行		
紺搔沙汰	義朝の髑髏を捧げ鎌倉下向の文覚				
	義朝の髑髏を受け取る頼朝 2	義朝の髑髏を受け取る頼朝			
	義朝の墓に贈官を告げる勅使				
平大納言被流	建礼門院に別れを告げる時忠				
	妻子と名残を惜しむ時忠	妻子と名残を惜しむ時忠	妻子と名残を惜しむ時忠		
	配所へ護送される時忠				
土佐房被斬	義経討取を下知する頼朝				
					土佐房を連れて行く弁慶
	義経に起請文を書く土佐房	義経に起請文を書く土佐房*			
	義経の夜襲をかける土佐房 2				
	土佐房勢を討破る義経主従	土佐房勢を討破る義経主従*			
	義経の前に引出された土佐房 2		義経の前に引出された土佐房*		
判官都落	範頼に義経追討を命じる頼朝				
	緒方三郎に助勢を頼む義経 2				
	九州に下向する義経勢 3	義経勢に攻めかかる太田勢*	九州に下向する義経勢		九州に下向する義経勢の船
	義経勢に攻めかかる太田勢 2	九州に下向する義経勢*			
	義経に置き去りにされた女房達 1				
	義経追討の院宣を願出る北条時政				
吉田大納言沙汰	頼朝の申請を検討する法皇たち				
六代	次々に捕えられる平家の子孫達 2				
	六代の隠れ家を見つけた時政勢 2	六代の隠れ家を見つけた時政勢*	六代の隠れ家を見つけた時政勢*		六代の隠れ家を見つけた時政勢
	僧坊の六代を取り囲む時政たち				
	六代を連行する時政の一行 2	六代を連行する時政の一行*	六代を連行する時政の一行		
	六代に返事を書く母君				
	文覚に六代の助命を頼む乳母	波打際の僧たち(六代被斬②)*	文覚に六代の助命を頼む乳母*		
	泣く親子達(長谷六代③の錯簡か)	護送の輿(六代被斬③か)*			
	時政に六代の命を乞う文覚 2				
	六代の身を案じる母君たち	東海道を下る輿*	六代の身を案じる母君たち*		
	斬首の場に引き出される六代 2	斬首の場に引き出される六代*			

	斬首を止める使者の僧 2		斬首を止める使者の僧 *	
	頼朝の書状を読む時政			
長谷六代	仔細を語る文覚 2			
	大覚寺にたどり着いた六代			
	泣く女房達(六代⑦との錯簡か)		戻った六代と再会する母君たち *	長谷寺で六代と再会する母
	合掌する尼(重衡被斬⑥の錯簡か)			
六代被斬	島を見て泣く六代(六代被斬②か)			
	旅に出る六代 2(六代被斬①か)			
	捕らわれた文覚			
		山を下る六代の奥(長谷六代①) *	鎌倉へ送られる六代 *	
	首を斬られる六代	六代と再会する母(長谷六代③) *		
女院御出家	東山の僧坊で泣く建礼門院			
	泣く僧と公卿達(小原御幸④か)	出家する女院 *	出家する女院 *	出家する女院
	涙する尼姿の建礼門院	合掌する二人の尼 *		
	懐旧の歌をしたためる女院			
	女院を慰めに訪れる女性たち			
小原入御	小原の里に移る女院 2		念仏を唱える女院たち *	
	物音に人の訪れを思う女院			
小原御幸	小原に御幸する法皇	小原に御幸する法皇 *		小原に御幸する法皇
	寂光院の庭を眺める法皇 2			
	法皇と語り合う阿波の内侍		法皇と語り合う阿波の内侍 *	
	女院を待つ法皇(小原御幸⑤か)	女院を待つ法皇 *	女院を待つ法皇	
	女院と語る法皇(六道之沙汰①か)			
六道之沙汰		女院と語る法皇	女院と語る法皇 *	
女院御往生	法皇を送る女院 2	三人の尼 *		
	臨終を迎える女院	臨終の女院と阿弥陀の来迎 *	臨終の女院と阿弥陀の来迎 *	